

全教定通部 2023 年度 中国・四国・九州ブロック学習交流集会 in 長崎

- ◆ 日 程 2023年11月11日(土)・12日(日)
- ◆ 会 場 1日目：鳴滝高校
2日目：長崎市(爆心地周辺 / 出島、新地、東山手)
- ◆ 参加者 岡山、山口、香川、佐賀各1名、本県13名、計17名



11月11・12日、長崎市を会場に定通部中国・四国・九州ブロック学習交流集会 in 長崎を開催しました。

概要は、①実践報告1「定時制・通信制の進路指導、支援について」、②実践報告2「高校通級の実際～鳴滝高等学校定時制昼間部～」、③各県からの報告・情報交換、④フィールドワークです。

定時制・通信制高校に通学する生徒たちが抱える課題や指導実践例等の情報を交換・共有し、交流を深めました。

1 実践報告①「定時制・通信制の進路指導、支援について」

中島 成卓さん (鳴滝高校キャリアサポートスタッフ)

キャリアサポートスタッフの業務内容や課題等について報告していただきました。幅広い資格をお持ちの中島さんは、多面的な観点で生徒から丁寧な聞き取りを行います。生徒1人1人の特性や意思を尊重し、職業とのミスマッチを防ぐとくみを紹介されました。課題(就職前・後、本人、教職員、制度等)についても学習を深めました。



大卒後、一般企業営業職/管理職等を経て、2013年から県内の教育・福祉の現場へ。約10年間、長崎の生徒と向き合ってきました。生徒支援員、カウンセラー、発達障害支援マネージャー、ジョブサポートセンター講師、特別支援教育支援員等を歴任。キャリアの基盤となる資格を必要に応じて取得し、専門的な知識と経験をお持ちです。(産業カウンセラー、公認心理師、臨床心理療法士、臨床心理カウンセラー、強度行動障害支援者資格、社会福祉主事任用資格、両立支援コーディネーター等)

多くの観点で生徒と向き合う

- ・心を扱う専門家として、子どもの心に沿った観点
- ・産業労働者のメンタルヘルスや労働法規・キャリア支援の観点
- ・特別支援教育的な観点

(1) キャリアサポートスタッフとは

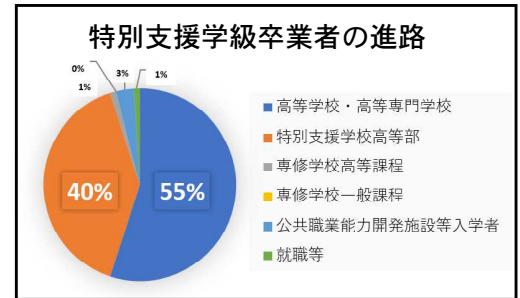
「高校生のためのふるさと長崎就職応援事業」の一環として、長崎県内48校に32名配置。業務内容は、教員が行う業務のうち、次のことを支援する。

- ① 学校内での企業説明会の実施、企業との連絡調整
- ② インターンシップの支援
- ③ 生徒・保護者のための企業見学会の実施
- ④ 県内企業のニーズを学校等へ情報提供
- ⑤ 職業観・勤労観を1年次から育成するキャリア教育支援
- ⑥ 生徒が希望する職種・業種における県内企業への積極的な求人開拓
- ⑦ 就職選択等に関する生徒や保護者の進路相談への対応
- ⑧ 就職試験に関する生徒の指導（面接指導）
- ⑨ 職員が配置されていない学校への情報提供
- ⑩ 就職者へのフォローアップ（早期離職防止）

(2) 鳴滝高等学校での取り組み

定時制昼間部所属で、定時制夜間部・通信制の2校を併任。特別支援学級の卒業生ほぼ全員（約97%）が進学し、高校に進学する生徒が約55%（2022年）で、増加傾向（2010年は約20%）にある。定時制・通信制高校等が、その大きな受け皿となっている。

本校にも、配慮を必要とする生徒が入学してくる。平成30年度から高校でも通級指導が始まり、発達障害等について受け入れが進んでいる。



出典：学校基本調査 特別支援学級卒業者の状況 令和4年度

(3) 支援の立場から感じる課題

① 就職前に起きる課題

- ・ 早期の職業観醸成 ← 就職活動に取り組む姿勢が主体性・積極性に欠ける生徒が多い。
- ・ 応募前職場見学の参加推進
- ・ 職場見学時のマナー事前指導
- ・ 家庭環境、経済的困窮、不安定さ（生活面・精神面）、低学力、コミュニケーション能力等

② 就職後に起きる課題

・ 早期離職ケース1（ミスマッチ）

自己理解が進まないままの就職や、1社のみを目標に就活 → 受験 → 内定の場合に起きやすい。

・ 早期離職ケース2（人間関係）

経験不足によるコミュニケーション力の不足 → 人間関係を築くことが難しい → 周囲に過敏に反応し、解決すべきことも、声をかけることができずに未解決のまま → タイミングを逃して更に注意を受けてしまう → 辛さや困難さが増す → 自己肯定感が下がり、仕事を続けていくことに対する自信を徐々に失っていく

入社2～3か月経過後、仕事に対して気持ちが揺らぐ時期に、定着支援を目的とした会社訪問

(4) 課題の中に潜む困難さ

- ① 身体面：体力、体調不良、テキパキとした動き、朝が起きられない、遅刻
- ② 精神面：ネガティブな受け止め、精神疾患、ストレス、自己肯定感、打たれ弱い
- ③ 社会的側面：社会的な訓練の不足、コミュニケーションや人間関係を築くのが難しい
- ④ 職業的側面：自己理解・自己評価と、実際の仕事に必要な能力に大きな差がある

表出する①～④の課題等は、次の特性に起因することが多い。

発達障害（ADHD・ASD・LSD・協調運動障害）、知的障害、精神的障害（双極性障害・統合失調症・うつ等）、身体的障害、神経症（不安症状・依存症状等）、低学力、不登校、いじめ、人間関係、受験失敗、転・退学等

所属の昼間部では、生徒が抱えている特性や生活環境による困り感等、生徒の様子について情報交換会（2か月に1回）が開かれ、支援を行う目的で、キャリアサポートスタッフ・SC・SSWも参加します。

(5) 第三の進路選択について

社会へ出るための準備が不十分な生徒の選択肢に「就労準備」という第三の進路選択がある。

- ① 就職：一般就労（一般枠、障害者枠）福祉的就労（継続 A 型、継続 B 型）
- ② 進学：大学・大学院、短大・専門学校
- ③ 就労準備

- ・ 自立訓練（生活訓練）（1～2年）→ 就労移行支援（2年）→ 就労定着支援（最大3年）
- ・ 自立訓練（生活訓練）（1年）→ 就労移行支援（1年）→ 就労定着支援（3年）
- ・ 就労移行支援（1年）→ 就労定着支援（3年）

就職に達するまで最長 4 年間の支援が受けることができる選択肢がある。

サービス名	内容
自立訓練 （生活訓練）	知的障害者・精神障害者が利用する「生活訓練」と、身体障害者が利用する「機能訓練」の 2 種類。
就労移行支援	障害者が仕事をするための力をつける支援サービス。
就労定着支援	一般就労へ移行した障害者について、必要な連絡調整や指導・助言等を行うサービス。（就労に伴う生活面の課題に対し、就労の継続を図るために自宅等への訪問や障害者の来所等）

(6) 相談機関等

前述の「自立訓練（生活訓練）」「就労移行支援」「就労定着支援」の相談窓口は、公的機関。各地域でサービスを行っている支援施設・支援法人は、その 1 つ先にある。

No.	機関名	業務内容等
1	ハローワーク	障害のある人は専門の相談員が対応
2	障害者職業センター	障害のある人が働くための支援（職業訓練等）をハローワークと連携して行う
3	障害者就業・生活支援センター	障害のある人の仕事に関する相談と生活上の相談を受ける
4	若者サポートステーション	働くことに悩みを抱える 15～49 歳を対象に、就労支援を行う

相談できる窓口として、卒業後ではなく在学中に繋いでおくこと、知っておくことが大切。生徒の特性、特長やニーズが合うところへ、いかに繋いでいけるかが、学校として対応が期待される課題。

2 実践報告② 「高校通級の実際 ～鳴滝高等学校定時制昼間部～」

桃木 唯さん（鳴滝高校定時制昼間部教諭・通級担当）

生徒の困り感や願いを授業のベースとする桃木さん。参加者同士ペアワークで通級授業体験。授業風景の動画では、課題を確認しながら成長していく生徒の様子を視聴しました。個別の教育支援計画や指導計画等、生徒理解→課題の整理→抽出→明確化→指導の方向性へと進めていく手順も可視化されていて、共有することができました。



(1) 鳴滝高校定時制昼間部の通級

通級による指導とは、通常の学級に在籍し、通常の授業での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童生徒に対して、障害に応じた特別の指導を行う指導形態をいう。大部分の授業を他の生徒と一緒に受けながら、一部、障害に応じた特別の指導の場を設けて指導する。

平成30年度から高校でも実施。長崎県では、現在、6校7課程で実施している。（佐世保中央定時制昼間部 & 夜間部、諫早東、島原翔南、中五島、五島南、鳴滝定時制昼間部）本校では、「障害に応じた」→「診断の有無に関わらず」本人の困りを中心に対象生徒を検討している。

(2) 授業の実際

1	対象生徒	2・3年次生	1年次は実態把握の時期と位置づけ
2	授業回数	週2回	自由選択教科の履修に替える 該当生徒を抽出して実施
3	授業形態	少人数のグループ学習	個別指導も必要に応じて実施
		ティームティーチングによる協働授業	TTのねらい ① 通級指導の理解啓発 ② 生徒の実態や課題に取り組む姿勢を共有 ③ 学級活動や他教科の学習場面での支援や指導の参考

SUPシート 日付(9月16日)

【ちよっと聞いてー】 (最近あった良いこと、おすすめもの、モチモチしてること、グチ等)
推しかな勝たしレドーナリ お話しの中で
なだらかにしてあげよう

【学習内容】 【評価】 ◎、○、△

	自分	野口	橋本
相手の話をよく伝える	◎	◎	◎
巨龍を褒める	◎	◎	◎

【よかった点】 (自分でも褒めでもOK! 「なし」はNG!)

お話しが上手に伝わりました。

【感想】

巨龍がモデルになった生にもなるしなあって
愛しました。

【コメント】

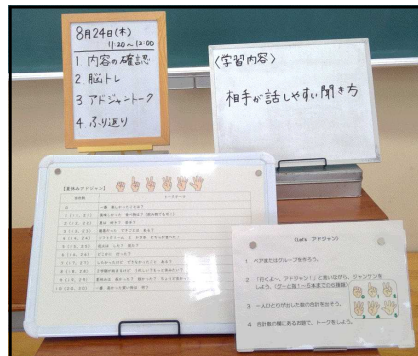
野口 亮太
お話しが上手に伝わりました。お話しが上手に伝わりました。お話しが上手に伝わりました。

橋本
お話しが上手に伝わりました。お話しが上手に伝わりました。お話しが上手に伝わりました。

①・⑤ SUPシート

授業展開

- ① ワークシート (日付・一言コメント・学習内容)
- ② 学習内容の確認
- ③ ゲーム性のある楽しめる活動
- ④ 話し合い活動
- ⑤ ワークシート (よかった点・感想)



② 学習内容の確認



③ ゲーム性のある楽しめる活動

① ワークシート

授業の始めに、つぶやきとその日の学習内容を記入する。
つぶやきは会話のきっかけに使うこともある。

② 学習内容の確認

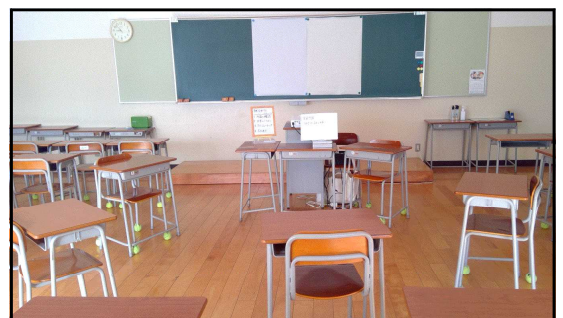
1時間の授業でどんなことを学習するのか、意識づけ

③ ゲーム性のある楽しめる活動

指導のねらい：頭の体操、注意力・集中力、短期記憶、
相手に分かりやすく伝える。

⑤ ワークシート

授業の最後に、評価の時間を設定し、自身の活動を振り返ることができるように工夫。
同時に、TT担当者による他者評価も行っている。



お互いの顔が見えるような机配置

指導内容の設定方法

学校独自のシラバスはあるが、その通りに進まないことが多い。学校生活の中で発生する問題や担任からの要望に応える形で、授業内容は柔軟性を持たせて計画する。生徒それぞれに実態や課題、こうなりたいという願いがあるため、指導内容も年度によって変わってくる。

そこで必要になってくるものが…

個別の教育支援計画（一部抜粋）

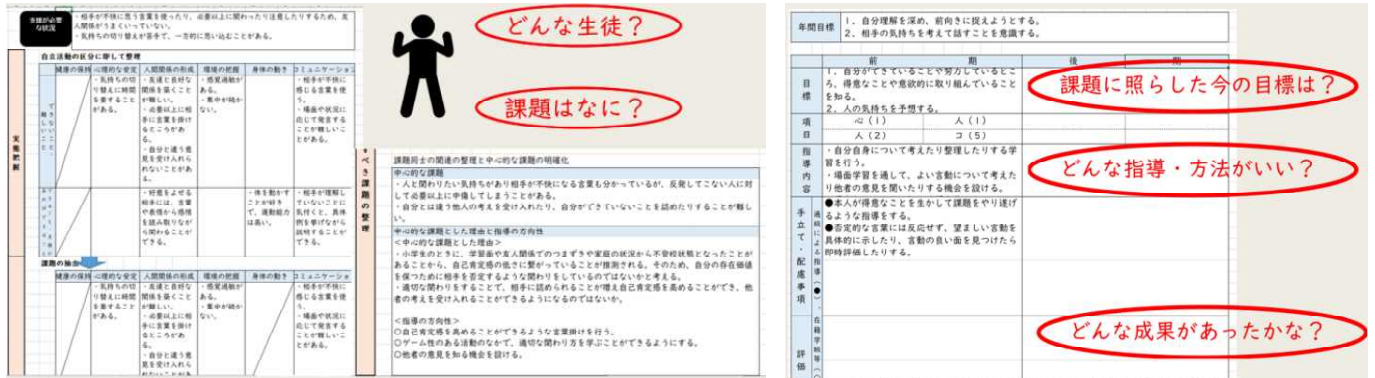
対象生徒については、作成することが義務化されている。

一貫した支援を行っていくために必要なツール。生徒の願いや、好きなこと、苦手なこと、検査結果、目標、支援・配慮等が記入されている。



個別の指導計画（自立活動）

支援計画を基に、どのような指導や支援を行っていくか、各教科におろしたものが指導計画。本校は自立活動のみ作成。特別支援学校の学習指導要領にある、6区分27項目に沿って実態を把握し、課題を整理している。実態に合わせて適切な指導ができるように、1人1人の指導目標、指導内容及び指導方法を明確にしたもの。



現在行っている指導内容

自己理解を深める、コミュニケーションスキル、今起きている困りへの指導、気持ちの整理をする、働くことについて考える

指導内容は、卒業後に必要となるものを中心に計画。話し合い活動の中では、周りの人はどう思うのかを予想したり、こう思うんだよという他者視点を伝えている。イメージすることが苦手な生徒が多いため、これまで考えたことがないことに意識を向ける指導を行っている。

(3) 大切にしていること

① 居心地の良い場所づくり

- どんな内容でも最後まで聴く
- 興味・関心事に寄り添う

いい自分もよくない自分も、安心して出せるように、日々の言動に気を付けている。(友達の悪口、アニメの話、自慢話等…)

② 目指す生徒像

- できることは自分でする
- 苦手なことは助けを求める

社会に出ると、一人の大人として見られる。手帳や診断を持っている生徒ばかりではないので、この2つをできることが必要になる。

3 各県からの報告 & 情報交換

各県の現状や課題（通級、進路、制服、統廃合、通学の足確保等）、取り組みについて情報を共有しました。あっと言う間の80分間でした。夕食交流会では中華を囲んで、さらに交流を深めました。



4 フィールドワーク

2 コース（各150分）に8名が参加

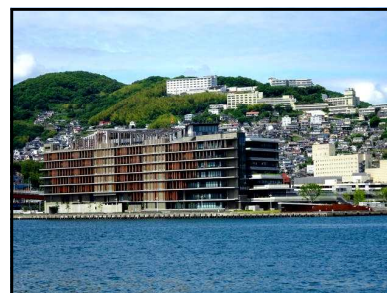
- Aコース 被爆遺構巡り ガイド 烏山 隆弘（鳴滝高校教諭）
長崎原爆資料館～爆心地～平和公園～浦上天主堂
- Bコース 海外交流の歴史 ガイド 今泉 宏さん（長崎工業高校教諭）
出島～新地・唐人屋敷～オランダ坂

ゆめおす特別講演会

- ◆ 日 時 2023年9月30日(土) 10:00 ~ 12:15
- ◆ 会 場 長崎県庁 1階 大会議室

「ゆめおす」は、不登校や引きこもり、ニート等様々な悩みについて相談を受けるために長崎県が設置した総合相談センターの愛称です。この講演会は、定通制高校を進路に考えている中学生や保護者、学び直しや不登校、引きこもり等の子どもたちの支援に関心ある方々を対象としています。内容は盛りだくさんで、教育・医療・福祉等専門家による4つの講演（「定時制・通信制について」「ひきこもり」「心とからだ」「進路選択」）と在校生しゃべり場。今年が7回目の開催です。

高教組からは、本部副委員長今泉さんが、合同学校説明会も含めて企画・準備段階から関わり、当日は講師として参加。演題は「定時制・通信制について 自分にあった高校を選んで、卒業を目指そう」です。全日制・定時制・通信制の特徴や入学・転入・編入、高認と高卒の違い等について説明しています。定通部を中心に高教組から計3名がスタッフとして参加し、運営をサポートしました。



長崎県庁



講演「定時制・通信制について」今泉さん



県庁 大会議室 ABC（3部屋の壁を外した県庁最大の会議室）

300名を超える来場者で県庁大会議室は埋まりました。会場後方に設置した予備の椅子も満席で、最後尾には立ち見も発生。年を追うごとに来場者が増加し、開催規模も大きくなっています。少子化が進行する中であっても、定時制・通信制のニーズがそれだけ大きいことを意味しています。



在校生のしゃべり場

講演内容スケジュール

10:00～15:30

同時開催 定時制・通信制高校等 合同説明会

10:00～10:15 定時制・通信制について

10:15～10:30 ひきこもり

10:30～10:45 心とからだ

10:45～11:00 進路選択

11:15～12:15 在校生のしゃべり場

在校生のしゃべり場に、公立高校からは今回初めて参加しました。
（長崎工業定時2名、鳴滝夜間1名）

定時制・通信制高校等合同説明会

- ◆ 日 時 2023年9月30日(土) 10:00 ~ 15:30
- ◆ 会 場 長崎県庁 1階 大会議室・エントランスホール

7年目を迎えた学校合同説明会は、NPO 法人「心澄」を中心とする合同説明会実行委員会主催です。「心澄」は、長崎県子ども・若者総合相談センター（愛称「ゆめおす」）の受託団体で、不登校や引きこもりなど生き難さを抱える方々を支援している組織です。合同説明会では、県内外の定時制・通信制高校等がそれぞれブースを設け、来場者の質問に答えたり、学校のしくみについて説明しました。

県立定通制高校ブースは、4校。県下全域から参加される方々のニーズに対し、丁寧に対応することができました。

参加校&団体

公立	①長崎工業高校 定時制 ②鳴滝高校 定時制夜間部 ③鳴滝高校 通信制 ④大村高校 定時制 ⑤希望が丘高等特別支援学校
私立	⑥こころ未来高校 ⑦クラーク記念国際高校連携校 長崎キャンパス 野田国際高等学院 ⑧トライ式高等学院 ⑨NHK 学園高校 ⑩勇志国際高校 ⑪神村学園高等部 おおむら学習センター ⑫ルネサンス高校 ⑬高宮学院高等部 ⑭やまと高校 ⑮長崎南山高校サspreンドールコース
関係 団体	⑯親の会 たんぼぼ ⑰NPO 法人 心澄 ⑱長崎若者サポートステーション ⑲長崎県子ども・若者総合相談センター ゆめおす ⑳多機関型地域包括支援センター

編集後記

中国・四国・九州ブロック学習交流会参加者の感想（ほんの一部）を紹介します。

報告①：「中島先生の取得された資格に驚きました。そういった知見を活用した生徒の進路指導は、個々に適したものと思います。」「とても丁寧に対応されていることに感心させられました。専門的知識をもって生徒と関わってもらえると、教員としてはとても安心だと思います」「キャリアサポートスタッフの仕事が担任等の業務を補い余りあることに感動した」「第3の進路選択は重要な視点だと思いました」「会計年度職員の待遇等について改善が必要だと思う」

中島さんは、紹介した他にも多くの免許・資格をお持ちです。多くの専門的資格を持つ人が、生徒の話に耳を傾け、丁寧に導いておられることに参加者のみなさんは驚いていました。

報告②：「通級について初めて内容を聞きました。自立支援のことについて詳しく聞いたことは有難かったです」「通級についてあまり知識がなかったので、大変勉強になりました」「授業の様子が具体的に分かって大変参考になりました」「とても勉強になりました。いろいろな工夫をしながら通級をされていることを知ることができました。ありがとうございます」「居心地のよい場所、生徒の思いに寄り添う等、指導者として大切な心得を再認識できました。発表者の先生の工夫や努力、そして生徒への深い愛情を感じました」

桃木さんは、通級に対する考え方や取り組みを簡潔かつ具体的に報告されました。授業風景等、普段見ることができない様子を分かりやすく動画で紹介していただきました。通級について初めて内容を知った参加者も多く、とても貴重な機会になりました。

心地よい秋晴れの下、開催された学習交流会は、学びの多い、交流を深めることができた2日間となりました。今回、長崎で感じたことを地元を持ち帰って活かしていただけると、嬉しいです。開催県として、おもてなしの心でしっかりと責任を果たせたと思います。ご協力いただきありがとうございました。



夕食交流会